

行政区全員集会

集まれば**元気!**

語れば**笑顔!**

学べば**勇気!**

佐伯区



5/1(月)に五日市南小で開催。13 人の参加で情勢学習や職場交流をしました。また、新たに佐伯区に来られた方を歓迎しました。

職場交流ではICT教育に前のめりの学校の状況も報告され、参加者からは驚くよりもため息が出ていました。

学級でできる群読の学習では、参加者が実際にやってみたり、楽しい会となりました。

前のめりのICT教育に驚き!

西区

5/12(金)に中広中で開催。10 名の参加で情勢学習や職場交流を行いました。

職場交流では「校務支援システム」を「校務遅延システム」と揶揄しながら、システムの不具合が語られたり、「はだしのゲン」削除問題を受けた学校の対応や、G7サミットの時の「特別休暇」をめぐる適切な対応を求める声が出ました。

また、不登校や特別支援学級のことなど子どもの状況も語られました。

使えない「校務遅延システム」

安佐南区 安佐北区



5/12(金)に城南中学校で開催。7 名の参加で情勢学習や職場交流を行いました。学習ではプール問題がテーマで、長年水泳部の顧問としてプールに関わってきた先生の発言もあり、問題点を共有することができました。職場交流では、落ち着かない子どもの実態が語られ、その原因にネット環境の影響があげられその対策などが話題になりました。また、特別支援学級が学校の中で後回しにされているように感じる。と学校体制も語られました。

プールの維持・管理に予算を!

安芸区



4/29(土)に開催。8人の参加で情勢学習や職場交流をしました

情勢学習では平和ノートから「はだしのゲン」が削除された問題について議論しました。

職場交流では、若い教員が増える中、自分で考えることなく忠実に行う教員が増えて大きな懸念を感じる。という報告がありました。だからこそ、やっぱり組合が必要。組織拡大のために、とにかく声をかけよう。下手な鉄砲も数射ちゃ当たる。でも撃たなきゃ当たらん。すぐに加入にならなくても、コップに水は少し溜まるはず。そんな話題がのぼって、とても充実した会になりました。

今こそ全教が必要!

南区



5/12(金)に荒神町小で開催。11 名の参加で情勢学習や職場交流を行いました。新しく南区に来た方に花束を渡しました。学習では「プールの方向性」について学び、行政はどこに予算を使うのか、私たちがもっと関心を持つことが必要だと語られました。

職場交流では、多学年の児童で編成される特別支援学級の大変さ(毎日がカオス)、ICTを使いこなせる若者とのギャップの苦悩、安心できる管理職かそうでないかでの疲れ具合の違い(職員会が長すぎる)など、皆さんのお話をたくさん聞くことができました。

また、学力差があっても集団を意識できる算数ゲームの紹介もあり、楽しい集会でした。

私たちがもっと関心を持とう!

東区



5/12(金)に二葉中で開催。6名の参加で主に職場交流を行いました。

臨時教職員の方から、年度初めからの引き続きの勤務にとっても安心していているという喜びの報告がありました。

また、対面で行うことで、これまでなかなか話せなかったことを語ることができ、またそれをしっかりと受け止めようと聞いてくれる環境ができました。

全教ならではの、安心して語ることができる場があることの重要性とともに、やはり対面で語ることのありがたみを感じることができた集会でした。

安心して語れる場は大切!

中区



5/12(金)に開催。8名の参加で主に職場交流を行いました。特別支援学級へのニーズが大きくなるのに、十分な指導員が配置されない現状の報告がありました。

今はとても忙しい日々。しかし、昔も授業準備や教材研究、学習会など急がしかった。それでも昔は楽しかった。それは仕事の時間ではなく、内容にやりがいを感じることができていたからだと話し、これからもやりがいを感じる仕事したいですねとみんなで確認しました。

また、今回集まった方は、これまで何らかのつながりがあったことも分かり、今後もつながっていくことの大切さを感じることができました。

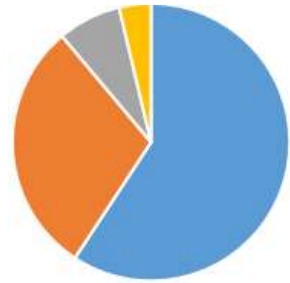
やりがいを感じる仕事を!

広島市教職員組合
(全教)
No. 3
2023.5.19

臨時教職員緊急アンケート

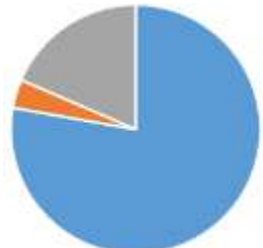
■ 勤務校の連絡は誰から？

回答:26件



■ ア:元校の校長 ■ イ:勤務先の校長
■ ウ:市教委 ■ エ:その他

■ 「通知書」の説明は誰から？



■ ア:校長 ■ イ:管理主事 ■ ウ:なし ■ エ:その他

【自由記述欄から抜粋】

- 学年 2 クラスを受け持っているのに、テストを作成せざるをえないので憂鬱です。
- 採点手当やテスト作成手当てがほしいです。
- ずっと以前は、新年度の勤務校について、市教委から連絡があった。その時は「通勤しにくい」など自分の意向を伝えられたが、今のように「決定」として新しい勤務校の校長から連絡が来ると、断りにくいです。また、任用形態もこちらから聞かないと伝えられませんでした。

臨時教職員アンケートから、中学校でのテスト作成にかかる時間が昨年度から措置されたとはいえ、学校実態にあっていないという報告があります。また、市教委は勤務条件の説明について、「勤務条件説明書を手交する際、その内容説明が確実にされるよう、指導していく。」としていますが、上記の結果を見る限り、まだまだ不十分ということがよく分かります。

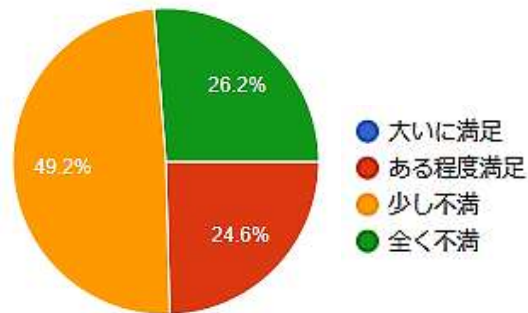
この 2 点については、今年度の市教委交渉で要求・確認を行っていきます。

また、働き方アンケートを受け、休憩時間のことや「持ち帰り仕事」について、再度、市教委に実態把握とともに改善を求めています。ICT環境については、ICT支援員の全校配置を求める声が圧倒的に多くありました。ICT教育を進めるのであれば、教育条件の整備も必要だと訴えています。今後も引き続き声を集めます。ぜひ広く協力を呼びかけてください。

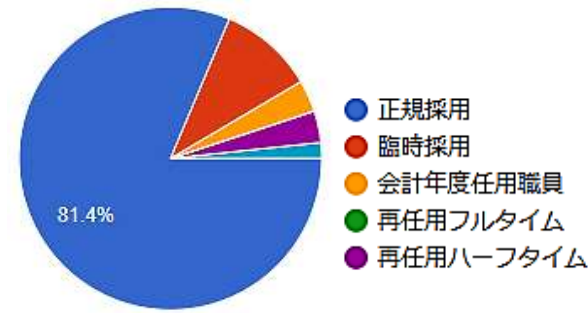
働き方アンケート

■ 今の働き方に満足ですか？

回答:62件の内訳



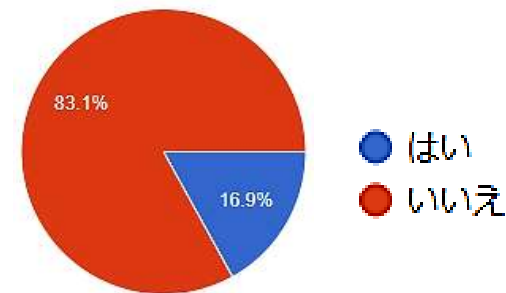
● 大いに満足
● ある程度満足
● 少し不満
● 全く不満



● 正規採用
● 臨時採用
● 会計年度任用職員
● 再任用フルタイム
● 再任用ハーフタイム

■ 「休憩時間」はとれていますか？

【いいえ】と答えた方

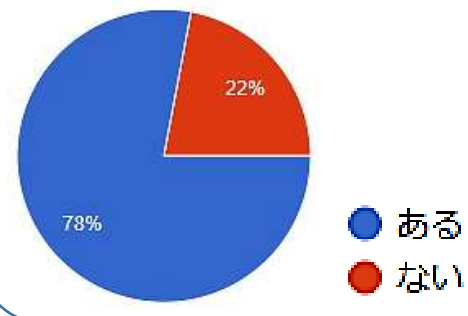


● はい
● いいえ

- 給食中も指導し、子どもを返したら少しでも早く帰れるように、鍵までに今日支区の片付けなどを行っている。休憩なんてとったことがない。
- 子どもが学校にいる時間は休憩はとれません。
- 昼休憩は子どもの対応に追われ、放課後の休憩では会議が入る。
- 勤務時間内にゆっくりしている意識はない。
- 子どもがいるのに、とれるわけがない。
- 休憩をとると帰りが遅くなってしまいます。
- 仕事が多すぎて、休憩できない。

■ 「持ち帰り仕事」はありますか？

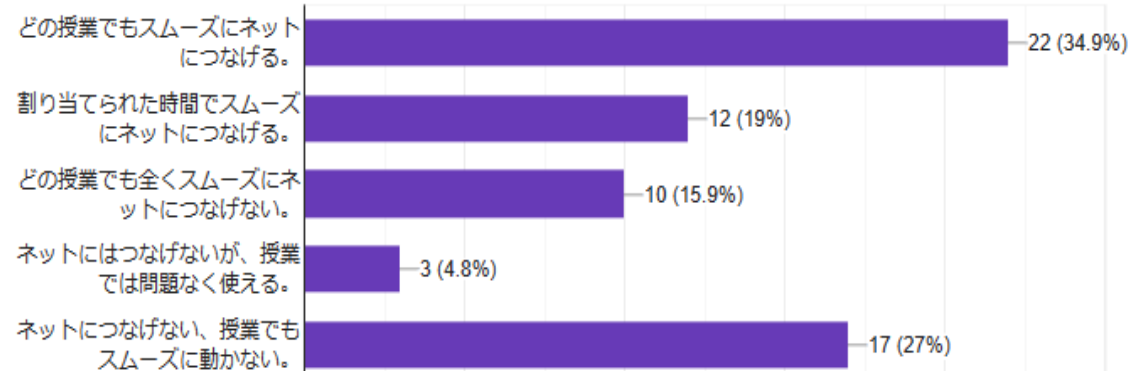
【ある】と答えた方



● ある
● ない

- 授業準備や文書作成を約 1 時間。
- ワークシートやパワーポイントの作成
- 委員会の資料や教材研究など
- 教材研究をしている。約 5 時間
- 指導案・行事の計画づくり、動画編集など
- 我が子の保育園や児童クラブのお迎えのため、定時に退勤するため、優先順位をつけて仕事をしているが、学級のことはいつも退勤後になってしまう。

学校のICT環境について (複数回答)



【ICTをすすめる上で望むこと】

- パソコンの専門の方を配置してほしい。
- 使用方法については内容を押し付けず、現場の教員に任せてほしい。
- ICT支援員の全校配置。全教職員に機器の配備
- タブレット端末の性能をよくしてほしい。
- 現場の状況や子どもの家庭状況を把握して施策を作してほしい。
- 教員の PC とタブレットを連携できるようにしてほしい。仮想デスクトップを使いやすくしてほしい。

実感ある働き方改革をめざして



アンケートはこちらから。